

令和元年度

第5回 阿波市教育委員会定例会議録

阿波市教育委員会

令和元年度第5回 阿波市教育委員会定例会議録

1 日 時 令和元年8月29日(木)

開会 午後2時00分

閉会 午後3時35分

2 場 所 阿波市役所 本庁 3階 306会議室

3 出席委員

教 育 長	坂 東 英 司
教育長職務代理者	森 勝 正
委 員 員	重 清 由 充
委 員 員	庄 野 憲 二
委 員	西 渕 利 江

4 会議出席者

教 育 部 長	矢 田 正 和
教 育 次 長	森 北 博 文
教育次長兼教育総務課長	高 田 敬 二
学校教育課長	伊 坂 典 恭
社会教育課長	伊 坂 好 史
学校給食センター所長	川 人 啓 二
(書記) 教育総務課課長補佐	滑 田 三 美

5 付議事項

- (1) 前回会議録の承認について
- (2) 教育長の報告について
- (3) 令和元年度教育委員会一般会計補正予算(第3号)について
- (4) 平成30年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について
- (5) 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について
- (6) 準要保護の認定について
- (7) その他

会議の大要は、次のとおり。

【坂東教育長】定例会を開会する旨を告げる。

(1) 前回会議録の承認について

【坂東教育長】送付いただいたております会議録について何かございますか。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】「前回会議録について」を承認する旨を告げる。

(2) 教育長の報告について

【坂東教育長】7月31日から8月29日までの、主だった教育委員会行事について報告。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】「教育長の報告について」を了承する旨を告げる。

(3) 令和元年度教育委員会一般会計補正予算（第3号）について

【坂東教育長】事務局に説明を求める。

【矢田教育部長】令和元年度教育委員会一般会計補正予算（第3号）について説明。

〈質 疑〉

【坂東教育長】説明が終わりました。何か質問はございますか。図書館は、着々と今工事が進んでおりますし、大俣公民館につきましても、解体が始まっています。テニスコートは。

【伊坂社会教育課長】市場のテニスコート分の補正予算です。阿波のテニスコートはもう発注しております。

【坂東教育長】公民館については、大俣は設計ですか。工事はいつですか。

【伊坂社会教育課長】工事請負費は、解体です。設計は既にできております。業者が決まって、今工期中です。

【矢田教育部長】図書館の進捗状況も、一応計画どおりです。

【高田教育総務課長】教育総務費の学校施設等整備事業費の設計監理委託料2,258千円ですが、これにつきましては、阿波市内小中学校の屋外トイレを改修するということで、その6施設分の設計費用になっております。

【坂東教育長】今説明がありましたように、懸案事項でありました外の各小学校のトイレがそれぞれ古くなっています。ブロックで建てているのもありましたけど、それを一括で6校を一度にやります。

【重清委員】それはどこですか。

【高田教育総務課長】市場町が大俣と八幡小、阿波町が林と伊沢と久勝小、中学校が土成中学校の6校です。

【重清委員】地元の学校が心配でしたが、林小学校の屋外トイレが改修されるということで、ほっとしました。

【高田教育総務課長】形状は、男女水洗の洋式のトイレと、真ん中に障害者の方も利用できる多目的トイレ、そしてバリアフリーの形状を採用しています。

【西渕委員】久勝は新しいですけれども。

【高田教育総務課長】プール側のトイレの改修です。

【西渕委員】除けるのですか。

【高田教育総務課長】除けます。コンクリートのブロックトイレと倉庫を除去してそこに建てます。

【坂東教育長】市場小はいつですか。

【高田教育総務課長】市場小学校は、来年度の体育館大規模改修工事の時に合わせて行う予定です。

【坂東教育長】「令和元年度教育委員会一般会計補正予算（第3号）について」を了承する旨を告げる。

(4) 平成30年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について

【坂東教育長】事務局に説明を求める。

【矢田教育部長】平成30年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について説明。

〈質 疑〉

【重清委員】よろしくお願いします。まず点検及び評価に関する報告書の中で、質問と感想を述べさせていただきます。10ページの2、学校教育課の方で、事業の評価、方向性が共に前回より向上しています。幼稚園、認定こども園における英語教育が、英語指導講師やALTによる英語活動を年6回ずつされているということで、幼稚園から小学校へ、小学校から中学校へつながる英語活動ができているように思います。前回も申し上げたのですが、民のこ

ども園の英語活動についての話し合いというのは持たれているのでしょうか。

【伊坂学校教育課長】 その話し合いは、まだできていない状況です。

【重清委員】 四カ所が民で運営されますが、阿波市が運営することも園の方では、英語指導講師やALTによる英語活動が積極的に行われるのに対して、民の方では、英語活動はどう考えられているのか。幼稚園から小学校につながるような感覚でしていただけるかどうかを、またお聞きいただけたら有り難いと思います。それと15ページの7で、ICTの活用の件で課題のところですが、ICT活動に対するサポート体制の充実ということで、苦手意識を持つ教員が多いということなのですが、学校訪問をさせていただいて感じるところは、どうしても小学校の方は積極的で、中学校の方はなかなか先生方でお使いになられているところが少ない。1回の学校訪問ではわかりませんが、普段使われているのかもしれません、準備とかスクリーンの設置の面でも、どういうふうに普段ICTを活用されているのかなと思いました。できるだけICT研究員の先生に、中学校の方に出向いていただきて、ご指導をいただけたら有り難いと思います。中学校からお呼びがなくても、せっかく阿波市内には各学校にICT機器を設置してくださっておりますので、校務の方でも働き方改革で効率化を言われておりますので、是非とも多く使っていただきたいと思います。次に、17ページのキッズソムリエのところですが、これは、平成29年は307名であったのが、今回平成30年度は330名ということで、これは23名増加したということですか。

【伊坂学校教育課長】 そうです。

【重清委員】 これは、1年に一ヵ所のキッズソムリエを育てているということになりますか。

【伊坂学校教育課長】 これは、農業振興課でキッズソムリエをしているわけですが、全体で330名と聞いております。

【重清委員】 目標値が330名ですか。

【伊坂学校教育課長】 実質の認定者数です。

【重清委員】 29年は307名でしたので、1年で23名認定されたのかというふうに思って、年間だいたい20数名ずつの活動で、キッズソムリエを育てられているのかなと。

【伊坂学校教育課長】 そうです。

【重清委員】 Awa産Our消Myメニューコンクールで、子ども達が一生懸命考え方取り組んだ料理を発表し、優秀な作品は学校給食で提供されるということで、ケーブルテレビでも子ども達の発表する姿を見せていただきました。

食育について親子で話し合いもでき、大変良い機会を与えてくれておりますので、これは総合評価がBになっておりますが、Aでもいいのではと感じました。それと18ページの具体施策の方の学校と図書館との連携というところで、学校訪問でも感じたのですが、学校と図書館の連携が大変すばらしく、読書活動も充実していると聞いておりますが、一条と大俣のサポートだけがないようですので、ご検討いただけたら有り難いと思います。

【伊坂学校教育課長】この件については、図書館の今度の更新時期にメニューとして、組み入れていただくように、社会教育課と協議しながら進めていきたいと思います。

【重清委員】連携の取れている小学校では、大変サポートをしていただいて良くなつたということをお聞きしておりますので、あと2校よろしくお願ひします。23ページの15ですが、事業実績状況の中の阿波っ子スクールの地域ボランティアで、去年は農業者1名と教科指導が1名おられましたが、本年の教科指導は0ということでよろしいですか。

【伊坂学校教育課長】今年はそうです。

【重清委員】地域の方々のご協力をいただき、一緒に阿波市の子どもを守っていくということで、ご協力をいただきたいのですが無理ですか。

【伊坂学校教育課長】ボランティアなので難しいです。

【重清委員】これは呼びかけで、去年は1名お世話になったということですか。

【伊坂学校教育課長】はい。

【重清委員】そしたら、大学院生のボランティアも4名から2名に減っておりますが、減っておりながら子どもの入級者は増えている状況なので、先生方は本当に大変だらうと思いますが、できましたらボランティアのご協力をいただける方が、一人でも多くいらっしゃつたら有り難いと思います。それと24ページのスクールカウンセラーですが、いつも学校訪問で教育長がおっしゃられておりますが、誰でもが相談しやすい状況を常に整えておくことが大切で、いつも学校にいますよということが、皆さんにわかるように、保護者の方もそうですが、生徒も子ども達もすぐにスクールカウンセラーさんと話しができるような状況下であつてほしいなと思っておりますので、よろしくお願ひします。それと28ページの、スクールガードリーダーによる巡回指導というのは、全学校においてなされておりますか。

【伊坂学校教育課長】これについては、8月と3月を除く10か月について、1か月あたり2校の学校すべてを回っています。

【重清委員】今パトロールをされて、何か不審だとか危険だとかはありませんか。

【伊坂学校教育課長】隨時スクールガードリーダーから、不審者とか危険なところがあれば、報告を受け対処しております。

【重清委員】29ページの防災教育の充実ということで、林や八幡以外でも具体的に学校訪問をさせていただくと、幼稚園、小学校、中学校が、それぞれの地域の実態に応じた防災計画を立てられて訓練が行われつつありました。いろいろな場面を想定しながら、毎年訓練を行うことが大切だと思います。回数を重ねることによって、問題点や反省点をしっかりと話し合い、防災に対する意識を高めて、今後も命を守ることの大切さを真剣に取り組んでいただきたいと思います。それと33ページで、施設の長寿命化の工事で、吉野中学校の大規模改修が行われ学校訪問時に見せていただきました。廊下も教室も全てが大変明るくなりましたので、活気が感じられ、子ども達もいきいきと学校生活がおくれているように感じました。大規模改修をしていただいて本当に有り難かったです。今後とも必要に応じた改修工事が行われ、子ども達のハード面での教育環境が整えられれば、大変有り難いと思っております。今後引き続きまして、施設環境において気づいた箇所がありましたら、隨時お願いしたいと思っております。よろしくお願ひいたします。それと40ページの32、ここモニタリングの回数ですが、平成28年度の時は5回であったのが、平成29年度は2回、今年は1回、減ってきているのは何かありますか。1回で十分のことでしょうか。

【伊坂社会教育課長】アンケート調査は、今年は1回だったということです。

【重清委員】これは定期的に、いついつ行うと決まっているのではないですね。

【伊坂社会教育課長】はい。

【重清委員】前回事業の評価が増加傾向だったのが、横ばいになったのですね。

【伊坂社会教育課長】そうです。

【重清委員】45ページの37、市民のニーズに応じた講座とありますが、どんな講座であったのかということが具体的に書かれていれば、わかりやすいと思います。そういうところが数カ所あります。47ページの39の阿波シティマラソンは、全体的な人数は減っておりますが、市内の参加者が平成28年、29年と比べて増えているので良い傾向だと思っております。今後とも阿波市内の人たちが積極的に参加していただければと思います。53ページの45の徳島駅伝です。ここも感想ですが、平成29年度は無かったのですが、平成30年度は8月の強化合宿、平成29年度は10月、11月が週2回、12月は週3回だったのが、9月10月11月に週2回、12月からは週3回というふうに強化練習を大変増やされて頑張っておられると思

います。より強化練習に取り組まれ成果が上がっておりますので、大変すばらしいことなので、今後とも頑張っていただきたいと思います。次に65ページの57健全育成の講演会です。ここは毎回聞いておりますが、事業実績状況が、何の講演会で、いつ誰がされたのかなと、去年もちょっと申し上げたと思いますが、中学生を対象にした講演会で、これは4中学校を回ってですね。

【伊坂社会教育課長】そうです。

【重清委員】4中学校を年に1回回るということは、全く当たらない場合もありますか。1年から3年まで卒業する間に当たらない場合も。

【伊坂社会教育課長】そうですね。

【重清委員】それもちょっと残念なことになると思いますが、どうなんでしょうね。出来たら具体的に実施概要などをわかりやすくしていただけたら、有り難いです。大変いい講演をされていると思いますので、お願ひします。それと68ページの60、この事業実績状況の中で何事も生活習慣が大切で、影響は大変大きいと思いますので、これはしっかりと継続していただきたいのですけれども、この中で歯磨き指導とありますが、学校訪問で徹底して歯磨き指導を呼び掛けている、大俣だと思いますが、虫歯がないくらいの状況を、先生の呼びかけもすばらしいし、ご家庭での声かけ、連れて行くのもすごいなど。逆に、ある中学校では、かなり虫歯があったというのにびっくりして。

【西渕委員】検査を受けて治療を要する紙をもらって帰るのに、治療に連れて行けていない家庭があると聞きました。

【重清委員】せっかく無償で見ていただける時期ですし、歯というのは、体調不良にも通じますので、できるだけこういったことは保護者の皆様のご協力をいただきたいと思います。最後の81ページの73外国との交流ですが、CからBになったのは、具体的にどうなんでしょうか。事業実績状況としたら、英会話教室の参加者は65名から58名に減っています。韓国語講座は12名が15名に増えておりますが、事業の評価としたら概ね寄与しているという評価でBに上がっていますが、どういった感じでCからBになったのでしょうか。

【伊坂社会教育課長】総合的に評価をして、継続した受講者もおられるし、英会話の成果も上がってきているということが、担当者からの評価だと思います。

【重清委員】ありがとうございます。それと一番最後の表ですか、業績評価指標一覧の中で1-1の、これも感想ですが、TT授業の時間数が目標は週11時間ですが、倍の週22時間ということで、TTの授業は先生がもう1人

おられることで、手厚く細かく指導できて全員にわかる授業を進めていけるので、有り難いことだと思っております。それと深刻な問題は、その次の肥満傾向の小学校の割合、この数字がびっくりなのは、平成28年の時は男子が8.67で目標値より下回っていて、女子は14.38でかなり上回っていましたが、それをまだ上回るほどの30年の数値は、男子が14.5、女子が18.2となっております。学校ではしっかりと先生がこの現状を踏まえて、努力されていると思いますが、ご家庭の協力なしでは、数値を目標値に近づけることはできないと思いますので、ご家庭の呼びかけを引き続き、続けていただきたいと思います。よろしくお願ひします。それと、1-8のICTを活用した授業の時間数が、昨年も申し上げたのですが、1,180時間と目標値を超えております。学校訪問を6月にさせていただいておりますが、土成小学校の山本先生はプログラミング教育にたけておられて、ご自分でわかる授業につながるソフトを作られたり、タブレットや電子黒板付きプロジェクターで子ども達が集中して学べていたのを見せていただきました。なので、ICTに詳しい先生がおられると、全職員のICT意識が高まると思います。また大俣小学校の村上先生も、村上先生の指導のもとICT機器を使用して主体的、対話的な方法を研修し努力を高められております。小学校では、ICT機器を積極的に活用されてほとんどの学校では、黒板の端にスクリーンを設置し、すぐ使用できるようになっております。また上手に電子黒板を利用している学校もあり参考になりました。新しい機器だけではなく、学校にある機械も上手に利用されることも大切だと思います。パソコンからタブレットへ効率的に利用しやすいものに重点が置かれていますが、全体に行き渡らないのが現状なので、そういう機器もしっかりと使われて上手に偏りのないように使っていただきたいと思います。それと、デジタル教科書においてですが、授業で利用されているのを参観しましたが、学校によると、小学校は国語と算数のみのデジタル教科書ですが、理科と社会も欲しいという要望があるというところもございます。子ども達にわかる授業をしようということで、しっかりと考えられているというふうに感じましたので、またご検討をお願いしたいと思います。デジタル教科書の使用についてですが、この場面で使うと授業が活きてくる、よりわかるというような研修があれば、有り難いと思います。と言うのは、中学校は5教科デジタル教科書がありますが、なかなかそこまでいきついていないように感じておりますので、もう一步進んだ授業の展開に、この場面に使うと良いのではと、ご指導をいただけたら有り難いと思いました。ALTの先生ですが、今年は二人がお帰りになられたのですか。

【伊坂学校教育課長】そうです。二人変わりました。

【重清委員】是非ともALTの先生も英語講師の先生方や子ども達と、積極的にコミュニケーションを取りながら、英語の授業も楽しく受けられたら有り難いなと思いました。今後も期待したいと思っております。最後に、学識経験者で長年教職に携わってこられた曾川先生と三橋先生の所見を読ませていただきました。教職に携わってこられたからこそ、阿波市の子ども達への思いも強く、また教職員の皆様への思いも感じ、私も同感だというところがたくさんございました。73事業を一つ一つ丁寧に細部まで見ていただき、感想、要望、課題であったり、案も述べていただき、評価すべき点は、しっかり評価くださっております。阿波市への思いが強く伝わり心より感謝したいと思っております。ありがとうございました。以上です。

【庄野委員】続けてお願ひします。重清委員さんがたくさん言ってくださったので言うことはあまりないのですが、4点だけ質問と感想を言わせてもらいます。1点目は14ページになりますが、中学校の部活動の外部コーチの人数は増えてきているのでしょうか。去年は来てくれていたと思いますが。

【森北教育次長】県から1名配置され、今後は県全体で何人か増えると新聞でも出ております。具体的な配分などは決まっておりません。増える傾向にはあります。

【庄野委員】阿波市で外部コーチを入れているのはないですか。

【森北教育次長】それは今のところは、県費では1名だけです。学校から委嘱されている方は複数おります。

【庄野委員】学校ではあるんですね。わかりました。それから、23ページ重清委員さんにもありました、阿波っ子スクールの件ですが、毎年課題や今後の方針で小学生の受け入れが課題であると出てきていますが、何か方策を是非早いうちにできたらいいと思います。県下でも他の市町村で小学生を受け入れているようなところがあるんでないかなと思いますが、どんなふうに受け入れしているなんかを参考にしながら、小学生でも不登校の子はたくさんいるので、もしそういう受け入れができたら有り難いかなと思います。

【森北教育次長】一番に送迎のことが課題になります。それがクリアできたら、大丈夫であると思います。

【庄野委員】子どもにもよるとは思いますが、行けたら行こうという子どももまたぶん中にいると思います。行きたくない子もいると思いますが、そういう環境を作つてあげるのもいいなと思いました。34ページですが、去年も同じ文章であったのですが、これわかりにくいでしょ。管理計画はいつ策定されているのですか。

【高田教育総務課長】28年度に策定されたと思います。

【庄野委員】ここは文章を変えた方がいいと思います。わかりにくいです。

【高田教育総務課長】確認しておきます。

【庄野委員】確認して直してください。最後一点は感想ですが、これも重清委員がおっしゃってくださっていたのですが、84ページに曾川先生もおっしゃってくださっていますが、肥満の件についてです。肥満傾向が続いている。阿波市全体というか徳島県が、糖尿病が多くて阿波市がその中でも多い状態が昔から続いています。肥満もこれに重なるように昔から続いていますが、運動をしっかりさせるようになってきたり、阿波市は食育を頑張ってしているのに、なおかつまだ肥満が続いている原因を、重清委員は家庭での協力と働きかけとおっしゃっていたのですが、何か方策をとって解決してほしいと感じました。去年確かに男子は、8.何%で年回りもあると思いますが、ずっと見てみると阿波市は大体上なんですね。年によってちょっと下がった時はあるのですが、そこらの方策を考えて行く必要があると感想を言わせていただきました。

【森委員】全体的にはAが3,4つくらいで、他の自治体に比べたら私が感じるのは、皆さんよく頑張ってくれているという気がしますので、もう少し評価が上でもいいのではないかと思います。目標設定をしている数値の関係のあるものは無理だろうと思いますが、感覚的、主観的に感じるところは評価してもいいのではないかと思っております。これは具体的にどうのこうのではなくに、ちょっとした感想ですが、12ページのところの、確かな学力育成のICTを活用した授業のところに書いてあるのですが、セキュリティに関して教師も少し敏感になって指導していかないといけないのではないかと思っております。それが、将来的に非常に大切になってくるんじゃないかというふうに思っております。阿波市ではないのですが、以前に勤めたことのある学校で、ホームページを2種類作ってあって、そこに自由に書き込めるようになっていたところに、長年そのまま放置してあったがために、後から勤務してきた者が、それがあることさえ知らないかがわしい書き込みを勝手にされていて、子どもの中にたまたま検索をかけた時にヒットして、この学校のこの関係のホームページにいやらしいのが載っていると気がついたことがあります。それを回復させるために、いろいろなところと連携しながら報告をしながらということで大変だったのを覚えているので。誰かがそれを作ったと思うんですよね。そういうことをして、そのままにしておくと後々大変だということも知ったうえで、ホームページを作っていかないといけないという気がします。それから15ページのICTの活用の研修です

が、学校訪問をして学校によっても違うし、小中でも違うし教員の意欲と言いますか、関心が非常に大事というふうに思っております。ただ、忙しいということもあったり、いろんな拘束があるので一概には言えないのかなと思いますが、研修の機会というのは市の方で担当も置いてあるので、なかば強制的というか年何回か決めて定期的にするということも、一つの方法かなというふうに思っております。それから 16 ページの環境教育の充実のところですが、事業概要が学校版環境 I S O の指定に努めますとなっていますが、指定って阿波市でするのではないですね。県教委がしますよね。学校政策課に申し込みをして。そうなると指定に努めますよりも、全校が指定をされた状態を継続してなおかつそこの狙いを達成するために行動しますという文言にした方がいいのかなと思いました。それから 29 ページの防災教室の充実ということで、事業実績状況の林・八幡小学校区内での自主防災組織連合会防災訓練とありますが、これって増えていますよね。

【伊坂学校教育課長】増えていっています。

【森委員】今はいくつになっていますか。

【庄野委員】土成、御所、林、八幡です。

【坂東教育長】一条も。

【森委員】私、八幡小の方に毎年参加をしていますが、内容がマンネリ化しているような感じもします。来る顔ぶれもあまり自分の自治会の参加者が変わらないような気がしているので、常にそういう意識を持ってもらうのは難しいのかなと思います。災害を体験したような方は切羽詰まっていろんな勉強をしたいという気持ちになるのでしょうかけれども、そういうふうに継続することが大切でしようけれども、内容というか危機感を持つということが大事かな、ということです。自主防災組織の方が計画をしてしているので、何とも難しい点であるとは思います。煙の中を進んでいくとか、ロープワークとか、倒壊しているところでてこの原理で持ち上げたりするとか、パターンは決まっています。最後には、非常食をいただいて、水もいただいて帰ると。しばらくはその継続でいいのでしょうか、あとは、次をどういうふうにしていくのかという、先に始めているところ、これからするところと、できるだけ早く組織を作つて、自治会単位で。私の自治会は何かあったら、班長が隣近所を全部確認すると。それで自治会長に連絡をしてそれを市の方にあげていくという申し合わせはできています。そんなこともどんどん深まっていくというか、できるだけ具体的に進めていけたらいいなというふうに思っております。あと 43 ページの生涯学習の開催というところでは、アエルワで 24 講座を開催とありますが、これは募集の何%ぐらいが参加しているので

しようか。

【伊坂社会教育課長】講座によっては、7、8割分もありますが、ほぼ100%です。

【森委員】それならいいのですが、あまり少なかったせっかくの機会なのにもったいないという気がしました。それから46ページの関係団体の育成というところで、スポーツ少年団指導者講習会を開催、市内14人受講、14人資格取得ということで、子ども達を育てるのは非常に勝利指導主義ではいけないなと思います。具体的に将来のことも考えて勉強をした指導者が指導してほしいという願いみたいなものがあると思います。そういう中で、資格取得ができているっていうことは、ずばらしいことだと思います。研修会を再々するとか。14人ということは全てですか。スポーツ少年団指導者。数はもつといいますか。

【伊坂社会教育課長】全てではないんですけど、希望を募って受講してくださいということで、していただいたのが14人です。

【森委員】指導を受けられていない方も、できたら受けられる形で。

【伊坂社会教育課長】できるだけ受講を伝えて。

【森委員】できるだけそういう形が望ましいかなというふうに思います。それから学識経験者の方が2名意見を書いてくださっておりますけれども、その中で指摘されております先程からも言われております、肥満傾向であったり、芸術文化のところでボランティアの活用とかありますけれども、いろんなことの指摘をいただいていることにも、力を入れていければいいと思います。非常に難しいと思いますが、より良い方向を目指して頑張っていけたらと思います。そんな中で、スポーツ団体の合宿の受け入れですが、0から3になつたのは、やっぱりすばらしいと思います。どこの会場を使ったかわかりますか。

【伊坂社会教育課長】阿波球場と阿波体育館。ただ阿波市には宿泊施設が少ないので、なかなか受け入れに難があるというところが課題です。

【森委員】こういう話しあつたと思いますが、吉野グラウンドも、せっかく芝生を張ったので使ってもらえたなら有効活用でいいという気がしますし、しかし宿泊施設の問題もあったりして難しいと思いますが、そんな中で3団体あるということで、これからもまた増えるように進めていくつだけたら有り難いなというふうに思います。最後に一つだけ、学識経験者ずっと前にも、学校の先生ばかりでない方がいいのではないかと言って、それ以外の方をした時もあったと思いますけれども、今後の検討課題としていただければというふうに考えております。ありがとうございました。

【西渕委員】ほとんどほかの委員さんに聞いてもらったことばかりなので、質問を2点ほど。13ページのNo.5で実績状況のところで、小学校では阿波市の名所・旧跡巡りを実施しとありますが、全ての小学校が旧跡めぐりとか文化財についてとか、まわったり勉強したり、全ての小学校でできているのでしょうか。

【伊坂学校教育課長】社会科見学ということで、バスを貸し切って阿波市内の名所・旧跡巡りを実施しています。

【西渕委員】わかりました。それと、61ページの文化財の保存・活用のところで実績状況の中に指定文化財ガイドブックの作成に向けてと毎年あるんですけど、見通しはもう立ちそうなんでしょうか。

【伊坂社会教育課長】一覧表というか、そういったのはありますが、外部に向けてのパンフレット的なのはまだできておりません。

【西渕委員】数年のうちには、できそうだということなんですか。

【伊坂社会教育課長】検討を重ねてまいります。

【西渕委員】感想になるんですけど、24ページで心と体の健康問題への対応のところの評価のところに、生徒の言葉の重さや意味は、その環境によっても個々で違うとあります。この部分で、教職員の指導力っていうのも事業名にあげられているのですが、ちょっと言いにくいですけど、先生の発言した言葉も個々の生徒によっては同じ言葉を受けても、受け止め方が違いだいぶん傷つく子どもがいるような話も耳に入ります。この部分で、先生の発言する言葉が持つ力がどのようなものかという部分で、教職員の指導力というものに、少し力を入れていただけたらと思います。よろしくお願ひします。それと、全体的にですけど、今ほかの委員さんもおっしゃったように、学校教育の部分で不登校や肥満や歯の治療の問題など全体的に考えたら、社会教育課の方で行っていただいている家庭教育の充実が、やっぱり根本的に大切だと思っています。家庭教育の向上の部分、67ページから71ページまでいろいろな部分を考慮していただいて取り組んでいただいているので、この部分に力を入れて家庭教育ということについて啓発を図っていただけたら、学校教育の部分がもっと改善されてくるのではないかと思いますので、今後も家庭教育の向上については熱心に取り組んでいただけたらと思います。よろしくお願ひします。ありがとうございました。

【坂東教育長】「平成30年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価に関する報告書について」を承認する旨を告げる。

(5) 平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について

【坂東教育長】事務局に説明を求める。

【森北教育次長】平成31年度全国学力・学習状況調査の結果についてについて説明

〈質 疑〉

【庄野委員】さっき少し話しに出ていた英語の件ですが、教育委員会の方には、例えば聞くとか話すとか書くとかの、個々のデータもあるのですか。私も関心があるのは、阿波市は小さい頃から話すことと聞くことは、だいぶやってきていますよね。だから、話すと聞くの力は少し上がっていると思うのですが。

【森北教育次長】「聞くこと」は明らかに高いです。「書くこと」には課題があります。「話すこと」は、全国レベルよりはるかに高いです。

【庄野委員】それが上がっているんだったら、安心しました。

【森北教育次長】成果が上がってきています。

【庄野委員】読む、書くはしっかり中学校とか、今度小学校も入ってくるので、しっかり力を付けていってほしいです。

【森北教育次長】参考までに、国語も「書くこと」は課題があります。「話すこと」は良い結果が出ています。

【庄野委員】そういう成果が、出ていますね。

【森北教育次長】間違いなく出ております。

【庄野委員】それだけが心配でした。

【森委員】年数と掛けているお金のことを考えたら、苦労を考えたらもうちょっと上にいってほしいという学校もあります。

【庄野委員】これは経年度評価をしてあげないといけないと思います。

【森北教育次長】たぶん、ステップアップテストなどを含め、総合的に考えたら来年は、今年と違う結果になると予測されます。年によってわかりません。

【重清委員】これで、一喜一憂していたらあかんのですね。

【坂東教育長】「平成31年度全国学力・学習状況調査の結果について」を承認する旨を告げる。

(6) 準要保護の認定について

【坂東教育長】事務局に説明を求める。

【伊坂学校教育課長】準要保護の認定について説明。

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】「準要保護の認定について」を了承する旨を告げる。

(7) その他

【坂東教育長】委員、事務局に何かあるか尋ねる。

【森北教育次長】寄附金について。

【高田教育総務課長】施設整備計画の事後評価について説明

〈質 疑〉

なし

【坂東教育長】本日の議事が全て終了したので、閉会する旨を告げる。

閉 会

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和元年8月29日

教 育 長

教育長職務代理者

委 員

委 員

委 員

教育総務課課長補佐